

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設の名 称	宮城県こもれびの森森林科学館
指定管理者の名 称	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会
施設所管部 課(室)	環境生活部 自然保護課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
～ 平成17年 3月	管理委託	花山村	
平成17年 4月 ～ 平成20年 3月	指定管理者	花山村(栗原市)	
平成20年 4月 ～ 平成23年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会	
平成23年 4月 ～ 平成28年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名 称	名 称	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会
	所在地	宮城郡利府町神谷沢字広畑6-40
指 定 期 間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名 称	宮城県こもれびの森 森林科学館	
所 在 地	栗原市花山字草木沢角間10-7	
設 置 年 月	平成5年4月	
根 拠 条 例 等	県民の森等の設置及び管理に関する条例	
設 置 目 的	<p>森林や自然環境に対する県民の関心の高まりや、自然とのふれあいを求める人々が増加してきている中において、「こもれびの森」は、スギ等の人工林や樹齢200年以上のブナ・ミズナラ天然林をはじめ、多くの動植物が生息・生育する豊かな森林である。</p> <p>森林科学館は、このような「こもれびの森」を背景にした、自然環境や森林・林業についての正しい知識・理解を身につけるための学習機能と森林レクリエーション機能を併せ持つ、県北の拠点施設である。</p>	
施設の内 容	敷 地 面 積	森林科学館等541.91㎡, 湿性植物園等12,987㎡
	構 造	森林科学館:木造平屋, 湿性植物園:池及び観察路等
	内 容	森林科学館(4連マルチビジョンやジオラマシアター等の学習施設) デイキャンプ施設(広場, 野外炊事場, 野外便所) 湿性植物園 山菜・薬草見本園
開 館 ( 所 ) 日	4月1日～11月30日(無休)	
開 館 ( 所 ) 時 間	午前9時～午後4時30分(4～10月), 午前9時～午後4時(11月)	
指定管理者が行う業務の範囲	(1)森林科学館等の運營業務に関すること (2)森林科学館等施設の維持管理業務に関すること (3)施設利用に関すること (4)入園者の拒否等	
利用料金制	採用の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	入場料は無料だがクラフト体験、野外炊飯プロパンガス、石窯使用料は実費を徴収。

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	244 日	243 日	244 日	100.0%	100.4%
延べ利用者数	5,000 人	5,268 人	5,185 人	103.7%	98.4%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
こもれびの森	5,000 人	5,268 人	5,185 人	103.7%	98.4%
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
合 計	5,000 人	5,268 人	5,185 人	103.7%	98.4%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	7,251	7,251	7,251	100.0%	100.0%
利用料金収入	0	0	0	-	-
その他(自主企画収入)	271	327	339	125.1%	103.7%
収入計 (a)	7,522	7,578	7,590	100.9%	100.2%

(単位:千円, %)

(2) 支出

人件費	4,161	4,252	4,144	99.6%	97.5%
施設管理費	1,227	1,121	1,140	92.9%	101.7%
事業運営費(-租税公課)	2,134	1,850	2,304	108.0%	124.5%
その他(租税公課)		352		#DIV/0!	0.0%
支出計 (b)	7,522	7,575	7,588	100.9%	100.2%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	2	2	-	100.0%
前期繰越収支差額	26	23	25	96.2%	108.7%
次期繰越収支差額	26	25	27	103.8%	108.0%

自主事業の収支実績	支 出	収 支	備 考
	312	1	自主事業に係る資材費・保険料等

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
①管理運営体制	ア)昨年度8月22日閉館の不手際を念頭に職員全員によるシフト表の確認と、朝の連絡体制を徹底しました。 イ)一人勤務体制に於いて、職員各自が自発的、積極的に管理運営する体制を目指しました。 ウ)宮城県森林インストラクター協会、施設管理事業部と連携した管理運営を行いました。	ア)開館への対策が確実に実行できたこと。 イ)管理運営方針に基づいた各職員の自発的な行動が図れたこと。 ウ)全体ミーティング及び各イベント等を通して各職員間の円滑なコミュニケーションが図れたこと。	A	事業計画に基づいた適切な管理運営体制であったと認められる。 安全管理や注意喚起などの臨機の対応に務めており、十分な体制で管理されている。	A
②施設・設備の維持管理業務の実施	ア)園内の、整備、館内設備・展示物の維持管理業務は計画的に毎日の業務の中で実施しました。特に館横池のアオミドロ除去を徹底し一定の成果を見ました。 イ)また、月1回全体作業日を設定し、主に園内整備に努めました。 イ)職員が対応できない専門的な作業や修理は専門業者へ委託し実施しました。	ア)園内の芝生や草刈り、生垣の整備など清爽感のある整備に努めました。 イ)日常で発生した軽微な障害や破損などは当館職員が即対応しました。 ウ)不具合等の発生時は県及び協会と連絡を取り対応しました。 エ)施設補修など予算化が必要な事案は、その都度県に報告し対応を仰ぎました。	A	年度事業実績報告などから、施設等の維持管理が適切に実施されたものと認められる。施設の老朽化に伴う修繕等にも適切な対応が見られる。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	ア)広報・案内など当館のPRを自治体広報、新聞、H/P、ブログ、案内パンフレット及び協会の会報等を活用し行いました。 イ)他団体・施設、行政などと協働・情報共有し当館利用拡大を図りました。 ウ)栗原市の各幼稚園、小学校に当館の利用促進の案内状とパンフレットを送付し、団体利用の増進を図りました。 エ)館内に常設の写真展示などを使い積極的なコミュニケーションを図り、認知度向上を図りました。	ア)来観者への積極的なコミュニケーションにより、当館の認知度向上とクラブコーナー利用促進が図れました。 イ)栗原市広報誌にイベント情報を適時掲載して戴き参加者申込みに繋がりました。 ウ)27年度も当館の情報紙(毎月発行)『こもれびの森通信』をHPへのアップロードと共に、関連機関への配布並びに花山地区全世帯への回覧を実施し、知名度向上と利用促進を図りました。	A	積極的にイベント等を企画し、情報を発信するなど、他の団体等と連携し利用者へ広く周知が図られるなど適切に運営されたものと認められる。また、パンフレット更新などにも積極的に動くなど利便性向上にも努めている。 リピーターも多く、来場者の満足度も高いなど質の高いサービスを提供している。	A
④自主事業の実施	ア)「こもれびの森ウッドランドクラブ」を8回、特番ウッドランドクラブを8回(前年6回)企画実施し当館認知度の向上を図りました。 イ)クラブ体験コーナーを常設し、また、土曜/日曜にはサポーターによるクラブ指導を行いました。 ウ)野鳥写真展の常設とパッチワーク展を開催しました。また、季節に合わせてキノコの写真(10月、11月約200点)の展示も行いました。 エ)図書コーナーを利用した「絵本読み聞かせ」が幼稚園・小学校低学年の団体利用に定着してきました。	ア)各イベント共参加予定人数を超える申し込みがあり、アンケート等からも高い評価を頂いています。 イ)多くのリピーターの外にH/Pや自治体広報、新聞の情報からの参加者も多数あり積極的な情報発信が功を奏しています。 ウ)自然観察、野外活動、クラブ体験なども積極的に利用促進を図りました。また、草木染め、一閑張り、藍染など特番イベントも高い評価を頂き次年度も実施を予定しています。 エ)花山小学校主催の「さくら岡まつり」に参加し地元住民、学校、団体と交流を深めました。	S	継続的に実施されている自主事業も含めて、各種イベントを積極的に企画するなど参加者の増加に努めており、イベント回数を増やすなど、更なる来場者の確保に向けた企画・運営が適正に実施されていると認められる。今後もさらに自主事業の充実を図り来園者数の増加に努めてほしい。	S
⑤利用者サービスの向上	ア)園内・館内は日常業務として整備・清掃・点検を行い 利用者が満足して利用できるよう配慮しました。 イ)クラブ体験コーナーは豊富な材料と、より利用しやすい環境整備に配慮しました。また、展示機器等のメンテナンスに配慮し年間を通して利用可能な状態にしました。 ウ)職員の対応、展示物の動作苦情等は口頭又はアンケートから情報収集し、即対応するよう心がけました。	ア)入館者へ積極的なコミュニケーションを図り、クラブコーナーの利用促進や館内、園内施設(炊飯棟の石窯など)のアピールに心掛けて運営しました。 イ)その結果、一般来館者からの口コミで団体利用に繋がったケースも垣間見られました。 ウ)アンケート結果から来観者の満足感が確認できました。	A	園内及び管内の整備点件等を常に行うなど利用者への利便性の向上に努め、入園者に対する対応及び各種イベントへの参加者がリピーターとして増加していることなど、利用者サービスの向上が図られていると認められる。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	ア)入園者、イベント参加者へアンケート記入を促し期ごとに集計、分析を行い満足度調査(評価)を実施しました。 イ)その結果を分析し、職員の対応や企画内容、案内やPRの方法を改善しました。 ウ)利用上の要望などは職員ミーティングで共有しました。	ア)アンケートで職員・スタッフの対応はいかがですかの設問に対し、上期は回答者の100%の方が好感が持てる・まあ普通と回答。また下期も同100%が好感が持てる・まあ普通との高い評価を頂きました。 イ)対応などでの苦情等はありませんでした。	S	利用者の満足度も高く、利用者からの要望等に対する対応などについても、迅速かつ丁寧であり適切であると認められる。今後も引き続き利用者への丁寧な対応に努めてほしい。	S
⑦安全対策	ア)館内・園内の巡視を毎日実施し火災、事故・の防止に努めました。 イ)特にイベント時には参加者の事故防止、食中毒防止に特別の注意を払いました。(イベント企画は実施計画書に救急医療機関を明確にし緊急時に備えました) ウ)イベント実施時に協会の安全委員会から安全パトロールを受け、参加者の安全を確保しているかの外部(協会)評価を受けました。	ア)館内・園内での事故、火災の発生はありませんでした。 イ)火災防止の為、園内に禁煙の掲示板を2ヶ所に設置。また熊出没注意の張り紙を出しました。 ウ)備品や展示物、道具の盗難はありませんでした。 エ)イベント開催時に防災訓練を行い、入園者の安全を図る訓練を実施しました。	A	巡視による点検や危険周知といった安全対策に注力し、緊急時における連絡体制及の周知や安全確保対策を図るなど、適切な管理運営体制により来場者の安全確保に努めているものと認められる。	A
⑧県民の平等利用	ア)県民の宗教・信条を尊重し、利用来館は制限しませんでした。 イ)県民(利用者)が自由に参加利用できるよう案内や広報等には差別的な文言を避け、職員の言葉使いも配慮しました。	ア)当館を利用する県民(入園者)に不平等な扱いは一切ありません。 イ)高齢者・障害者に対しては、来館時には積極的に手助けをし安心して利用できるよう配慮しました。 ウ)入館拒否はありませんでした。	A	広く県民に対して利用を促すように考えられた運営内容であったと認められる。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	ア)個人情報保護条例法に従い対応しました。 イ)特にイベント等参加者名簿、サポーター登録名簿等の管理は確実にを行いました。	ア)職員・サポーター名簿の外部持ち出し禁止、職員以外の閲覧禁止を厳重に行いました。 イ)参加者名簿を厳重に保管し館外への持ち出しも厳禁し個人情報漏れがないよう配慮しました。	A	個人情報の保護に関する重要性を職員全員が認識し、適切な対応や書類の管理行われていると認められる。	A
⑩利用実績	ア)入園者は合計5185名(前年比で98%、計画比101%)の利用数でした。 イ)野外炊飯場利用者は1001名(前年度972名)、クラブ体験893名(前年度944名)となりました。 ウ)ウッドランドクラブと特番企画の参加者は581名です。	ア)上期は6月の長雨による入館者数の減少が懸念されましたが、一般来観者の増加で団体入館者の減少をカバーし2,769名(前年同期比100.5%)とほぼ前年同様の入館者数となりました。 イ)下期も上期同様の来観者の増加を期待しましたが、1,654名(前年同期比96.4%)と前年同期を少し下回り、年間の入館者数は目標の5,000名を超えましたが、5,184名(前年比98%)と前年を少し下回る結果となりました。	A	9.11豪雨による県道岩入一迫線の閉鎖による影響から、事業計画に対して若干の利用者減となっているが、各種イベントへの参加者が増加しているなど集客効果の向上が図られているものと認められる。なお、今後も放射能汚染に関する利用者からの問い合わせについては、適切な対応をお願いいたします。	A
⑪収支実績	費用対効果を考慮し、常にコスト削減を考え効率的な運営に努めました。	ア)収支では1千円の黒字となりました。 イ)人件費は4,144千円(予算4,161千円)でほぼ計画の通りでした。	A	適切に事業運営が実施されたと認められる。	A
⑫その他の取組	ア)幼稚園、小学校やPTA、子ども会、公民館など教育機関の団体を誘致しました。 イ)ディサービスなど高齢者施設の利用促進を図りました。 ウ)県北部地方振興事務所、国立花山青少年自然の家、自然着の館(道の駅)、花山小学校協働教育推進委員会とも連携協働しました。	ア)幼稚園、学校関係、公民館、子ども会の利用が定着してきました。 イ)県北の自然体験施設としても知られてきました。 ウ)自然体験のフィールドとして、園内の整備、館内展示物の保守、クラブコーナーの充実を図りました。	A	地域の学校等の環境教育の場として広く認知され利用実績も向上しており、また施設内の体験活動の場の充実化を図るなど、さらに県及び市町村の関係機関との連携を図りながら事業と連動して実施が図られるなど、適切な取組が実施されていると認められる。	A
総合評価		6月の長雨や9月の豪雨による県道の閉鎖などがあり、入館者数の大幅な減少が懸念されましたが、目標の入館者数5,000名は達成することができました。また、アンケート等から入館者の高い評価を頂いており、運営・維持管理・施設利用等への適切な対応が出来たと考えています。今後さらに幼稚園、小学校、子供会など団体利用の増加をめざ活動していきます。	A	利用者は計画目標に対して若干の増加になっており、施設の運営・維持管理及び自主事業等についても良好であると認められる。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	ア)建物の老朽化、展示機器の一部動作不良と老朽化が進んでおり、早急な対応が必要と思われます。また野外テーブルやベンチなど一部補修はしていますが腐食が進んでおり入れ替えなどの対応も必要な状況です。 イ)山菜薬草見本園、湿性植物園は日々の整備では十分な整備が行き届かない状況にあり、抜本的な対応が必要です。 ウ)平日1人勤務へのリスク対応が課題です。	ア)指定管理者において修繕対応が可能な施設等については、対応をお願いいたします。なお、H29年度、30年度に展示改修や外装木質化工事等により順次整備していきます。 イ)見本園等については、今後機能回復等を図るための検討を行ってまいります。 ウ)H28年度からは常時2名体制で対応願います。